

令和6年度公共事業再評価調書

担当課名

農地整備課

番号	1																											
事業名	農業農村整備事業	事業主体	静岡県																									
箇所名	にしゅう 西浦みかん <small>あしほくりょう</small> 足保久料	関係市町	沼津市																									
事業採択年度	平成 26 年度	計画期間	平成26年度 ~ 令和11年度																									
再評価理由	事業採択(H26)後10年間が経過した時点で継続中	工事着手年度	平成 27 年度																									
事業費 (百万円)	全体計画事業費	~R4年度	R5年度	R6年度見込	R7年度以降																							
	2,642	1,252	159	225	1,006																							
事業量	農道工 延長8,129m	2,714	432	543	4,440																							
	用水路工 延長5,334m	430	150	0	4,754																							
	鳥獣害防止柵工 延長6,600m	0	0	0	6,600																							
事業概要	<p>(1)事業目的 本地区は、海岸線沿いの急峻な山間地に樹園地があり、農業生産条件は非常に悪い。このため、本事業により農道整備及び用水路整備を行い、営農条件が向上することで、農業経営を安定させ、担い手を支援することを目的としている。 また、鳥獣害防止柵を設置することで、被害の発生を防ぐ。</p> <p>(2)事業内容 受益面積： 98 ha 農道工： 8,129 m                      用水路工： 5,334 m 鳥獣害防止柵： 6,600 m</p>																											
【視点1】	<p>(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 本地区は、古くからみかん栽培が盛んな地域であり、県東部地域の主要な産地である。高品質な「寿太郎みかん」ブランドの産地として、令和2年11月にGI登録され、農家の生産意欲も高く、「寿太郎みかん」を生かした加工品の開発が進んでいる。 また、ドローンを活用した薬剤散布の導入を検討しており、営農作業の効率化を図っている。</p> <p>(2)事業の投資効果 ○費用便益分析結果 (令和 5 年度時点)</p> <table border="1"> <tr> <th>B/C (i=4%)</th> <th>参考:B/C (i=2%)</th> <th>参考:B/C (i=1%)</th> <th>EIRR</th> </tr> <tr> <td>1.4</td> <td>1.7</td> <td>2.0</td> <td>7.9%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総便益 (B) 40.6 億円 (農道：34.6億円、用水路：3.8億円、鳥獣害防止：2.2億円)</li> <li>・総費用 (C) 30.0 億円 (農道：26.6億円、用水路：2.7億円、鳥獣害防止：0.7億円)</li> </ul> <p>○見込まれる効果 (定性的な効果) 農道整備による走行経費の節減効果、用水路整備による営農経費の節減効果など</p> <p>(3)事業の進捗状況 (令和 6 年度見込み)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>進捗率</th> <th colspan="2">内 訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>61.9%</td> <td>( 1,636 百万円</td> <td> / 2,642 百万円 )</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事業量</td> <td>農道工</td> <td>( 3,689 m</td> <td> / 8,129 m )</td> </tr> <tr> <td>用水路工</td> <td>( 580 m</td> <td> / 4,440 m )</td> </tr> </tbody> </table>					B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR	1.4	1.7	2.0	7.9%	区分	進捗率	内 訳		事業費	61.9%	( 1,636 百万円	/ 2,642 百万円 )	事業量	農道工	( 3,689 m	/ 8,129 m )	用水路工	( 580 m	/ 4,440 m )
B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR																									
1.4	1.7	2.0	7.9%																									
区分	進捗率	内 訳																										
事業費	61.9%	( 1,636 百万円	/ 2,642 百万円 )																									
事業量	農道工	( 3,689 m	/ 8,129 m )																									
	用水路工	( 580 m	/ 4,440 m )																									
事業の必要性	<p>評価</p> <p style="text-align: right;">継続が妥当</p>																											
【視点2】	<p>今後の事業の進捗の見込み</p> <p>幹線農道は全延長1,965mのうち837mが完成見込み、支線農道は全線6,164mのうち2,852mが完成見込みで12路線中6路線に着手している。先行していた海側の支線の整備が完了し、重機の進入路や営農車両の迂回路が確保できたこと等により、幹線農道の施工箇所を「2箇所→4箇所」に増やすことが可能となった。 また、支線農道の残路線のうち4路線は拡幅改良を伴わない安価な舗装改良であり、拡幅改良に比べ年間施工量が増加する。このため、年間施工量が「320m→880m程度」と見込まれることから、令和11年度に完了する計画である。</p>																											
【視点3】	<p>新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性</p> <p>農道整備により発生した建設発生土を、窪地や谷側のみかん畑等の整地に有効利用することで、残土処分費の縮減と、ブロック積等の構造物の設置箇所の削減により、工事費のコスト縮減を図っている。</p>																											
対応方針(案)	<p>(1)対応方針(案) 本事業を 【 継続 】 する。</p> <p>(2)理由 本事業により、通作や輸送の利便性が大幅に高まり、営農の効率化が図られている。また、用水路工の整備が進むことで、防除作業の効率化や、鳥獣害防止柵を設置することで、被害防止が図られる。受益者からは、「整備効果が出ている」等の事業推進に期待する前向きな意見が多数出ており、今後、更なる事業進捗が見込まれるため、事業を継続する。</p>																											
評価	<p>継続が妥当</p>																											

費用対効果の分析資料

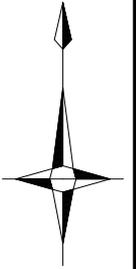
担当部課名 農地整備課

事業名	農業農村整備事業	地区名	西浦みかん足保久料 (にしうらみかんあしほくりょう)																														
効果の算定																																	
総 便 益 額 の 内 訳	品質向上効果 農道整備により、悪路輸送による生産物（温州みかん等）の荷痛みが防止され、品質向上効果が発生する。 [便 益] = 270,199 千円																																
	維持管理費節減効果 農道整備により、維持管理する施設の延長や面積が増量するため、新たな維持管理費が発生する。 [便 益] = △ 870 千円																																
	営農に係る走行経費節減効果 農道整備による自宅から農地、農地から出荷場への距離短縮や走行速度向上により、走行経費の節減効果が発生する。 [便 益] = 3,187,348 千円																																
	営農経費節減効果 用水施設整備による営農効率の向上等により、農作業時間の短縮効果が発生する。 [便 益] = 394,200 千円																																
	維持管理費節減効果 用水施設整備により、維持管理する施設の延長や面積が増量するため、新たな維持管理費が発生する。 [便 益] = △ 9,741 千円																																
	営農経費節減効果 鳥獣害防止柵整備により、有害鳥獣駆除に要する時間の短縮効果が発生する。 [便 益] = 3,994 千円																																
	維持管理費節減効果 鳥獣害防止柵整備により、維持管理する施設の延長が増量するため、新たな維持管理費が発生する。 [便 益] = △ 2,518 千円																																
	作物生産効果 鳥獣害防止柵整備により、被害が防止され現況単収が増量するため、新たな作物生産効果が発生する。 [便 益] = 196,613 千円																																
	国産農産物安定供給効果 鳥獣害防止柵整備により、国産農産物の安定供給効果が発生する。 [便 益] = 17,735 千円																																
	総便益	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">270,199</td> <td style="text-align: center;">+</td> <td style="text-align: right;">-870</td> <td style="text-align: center;">+</td> <td style="text-align: right;">3,187,348</td> <td style="text-align: center;">+</td> <td style="text-align: right;">394,200</td> <td style="text-align: center;">+</td> <td style="text-align: right;">-9,741</td> <td style="text-align: center;">+</td> <td style="text-align: right;">3,994</td> <td style="text-align: center;">+</td> <td style="text-align: right;">千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">-2,518</td> <td style="text-align: center;">+</td> <td style="text-align: right;">196,613</td> <td style="text-align: center;">+</td> <td style="text-align: right;">17,735</td> <td style="text-align: center;">+</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: center;">+</td> <td colspan="4"></td> <td style="text-align: right;">= 4,056,960</td> </tr> </table>			270,199	+	-870	+	3,187,348	+	394,200	+	-9,741	+	3,994	+	千円	-2,518	+	196,613	+	17,735	+	0	+					= 4,056,960			
270,199	+	-870	+	3,187,348	+	394,200	+	-9,741	+	3,994	+	千円																					
-2,518	+	196,613	+	17,735	+	0	+					= 4,056,960																					
総費用	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">①</td> <td style="width: 40%;">事業着手時の資産価額</td> <td style="width: 10%;">80,811</td> <td style="width: 10%;">千円</td> <td style="width: 20%;">（既施設の資産額を減価償却により整理）</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>当該事業費</td> <td>2,713,480</td> <td>千円</td> <td>（当該事業で整備する施設費用）</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>関連事業費</td> <td>0</td> <td>千円</td> <td>（当該事業に関連する施設の費用）</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>評価期間における再整備費</td> <td>527,180</td> <td>千円</td> <td>（工事期間+40年の評価期間内の再整備費）</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>評価期間終了時点の資産価額</td> <td>319,040</td> <td>千円</td> <td>（工事期間+40年の評価期間終了時の資産額）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">総費用=①+②+③+④-⑤</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">3,002,431 千円</td> </tr> </table>			①	事業着手時の資産価額	80,811	千円	（既施設の資産額を減価償却により整理）	②	当該事業費	2,713,480	千円	（当該事業で整備する施設費用）	③	関連事業費	0	千円	（当該事業に関連する施設の費用）	④	評価期間における再整備費	527,180	千円	（工事期間+40年の評価期間内の再整備費）	⑤	評価期間終了時点の資産価額	319,040	千円	（工事期間+40年の評価期間終了時の資産額）	総費用=①+②+③+④-⑤		3,002,431 千円		
①	事業着手時の資産価額	80,811	千円	（既施設の資産額を減価償却により整理）																													
②	当該事業費	2,713,480	千円	（当該事業で整備する施設費用）																													
③	関連事業費	0	千円	（当該事業に関連する施設の費用）																													
④	評価期間における再整備費	527,180	千円	（工事期間+40年の評価期間内の再整備費）																													
⑤	評価期間終了時点の資産価額	319,040	千円	（工事期間+40年の評価期間終了時の資産額）																													
総費用=①+②+③+④-⑤		3,002,431 千円																															
総費用総便益比																																	
①総便益	4,056,960 千円																																
②総費用	3,002,431 千円																																
総費用総便益比 =	1.35																																

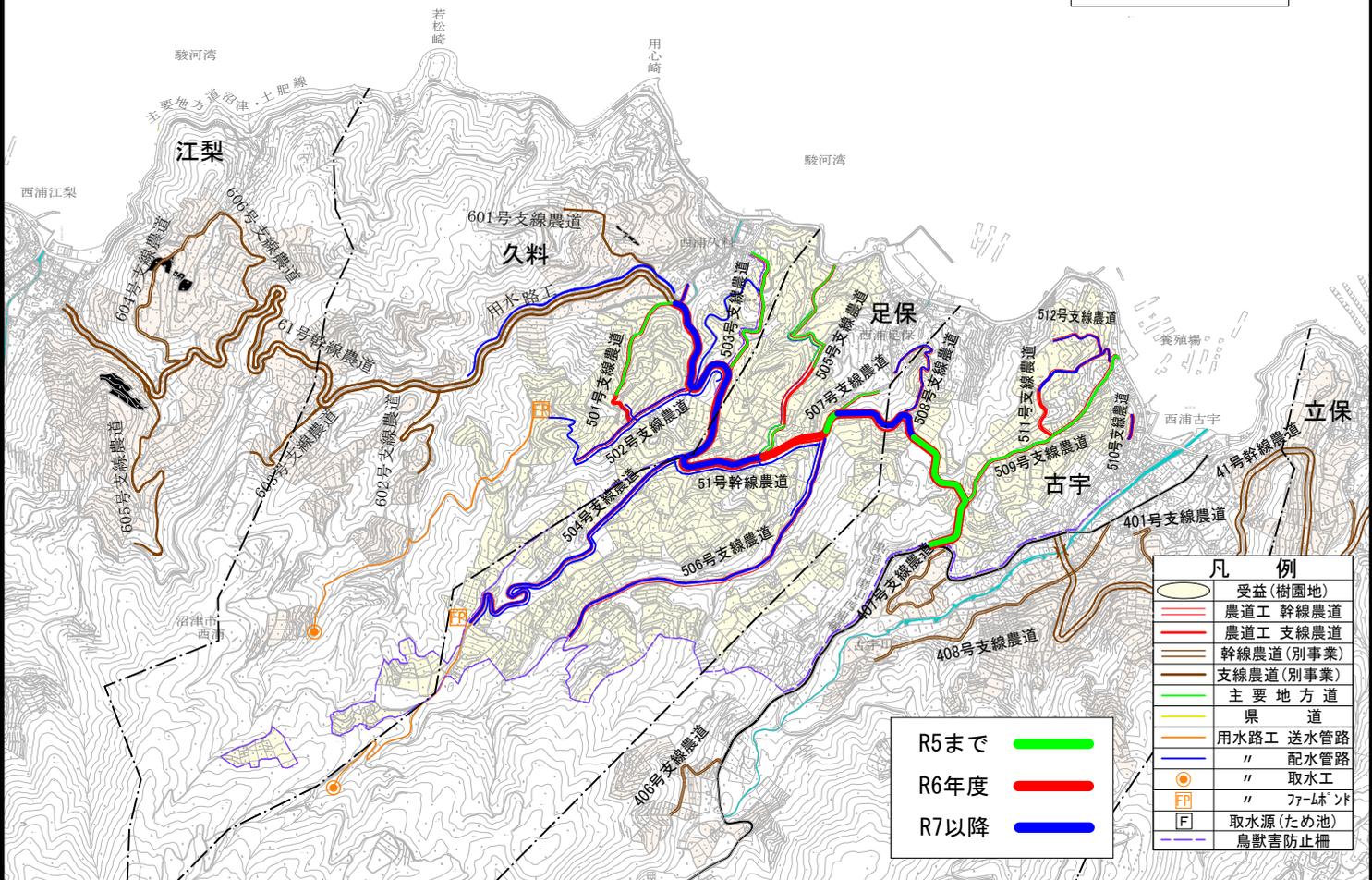
# 農業農村整備事業

# 西浦みかん足保久料地区 計画一般図

縮尺 A2 1 : 10,000  
A4 1 : 20,000



県内位置図



凡例

	受益(樹園地)
	農道工 幹線農道
	農道工 支線農道
	幹線農道(別事業)
	支線農道(別事業)
	主要地方道
	県道
	用水路工 送水管路
	" " 配水管路
	" " 取水工
	" " 77-ムシ'ント
	取水源(ため池)
	鳥獣害防止柵

R5まで	
R6年度	
R7以降	

## 整備概要

工種	系統名	計画事業量
農業生産基盤整備	幹線農道	道路工 L=1,965m
	支線1号農道	道路工 L=480m
	支線2号農道	道路工 L=389m
	支線3号農道	道路工 L=441m
	支線4号農道	道路工 L=1,065m
	支線5号農道	道路工 L=757m
	支線6号農道	道路工 L=1,053m
	支線7号農道	道路工 L=183m
	支線8号農道	道路工 L=398m
	支線9号農道	道路工 L=691m
	支線10号農道	道路工 L=76m
	支線11号農道	道路工 L=446m
	支線12号農道	道路工 L=185m
農業用水施設整備	農業用水	取水工 2ヶ所
		77-ムシ'ント 2ヶ所
		減圧水槽 4ヶ所
		用水管路工(送水系統) L=1,546m
		用水管路工(配水系統) L=3,788m
鳥獣害防止施設整備	鳥獣害防止施設	鳥獣害防止柵 L=6,600m

## 事業概要

受益面積	98.2 ha	
事業費	2,642,212千円	
主要工事	農道工	幹線農道 (W=5.5(4.5)) 1路線 L=1,965m
		支線農道 (W=4.5(4.0), W=3.0(2.5), W=2.5(2.0)) 12路線 L=6,164m
		計 13路線 L=8,129m
	用水路工	取水工 2ヶ所 77-ムシ'ント 2ヶ所 減圧水槽 4ヶ所 用水管路(送水系統) 2路線 L=1,546m 用水管路(配水系統) 3路線 L=3,788m
	鳥獣害防止施設	鳥獣害防止柵 L=6,600m
関連事業	—	
事業主体	静岡県	

●社会情勢等の変化

【H24】西浦柑橘共選場の光センサー式糖酸分析器導入

【H29】「寿太郎みかん」の機能性表示認可

【R02】地理的表示（GI）保護制度登録

「寿太郎みかん」ブランドを生かした加工品の開発



西浦柑橘共選場



寿太郎みかんプレミアムゴールド



スイートレモネードジュース



西浦みかん寿太郎缶詰



イメージ図

ドローンによる  
農薬散布の導入検討



援農ボランティア

JAによる援農ボランティアの募集

→ 人手の確保（リピーターも多い）

令和4年実績：延べ718名（R3実績：587名）

西浦みかん土地改良区が設立（R元年、組合員378名）

●事業の必要性等（農道、用水路）

<農道工>



農道（既存）

幹線農道（51号幹線）の完成後

年間走行経費の減



・移動時間（自宅→農地, 農地→出荷場）の短縮

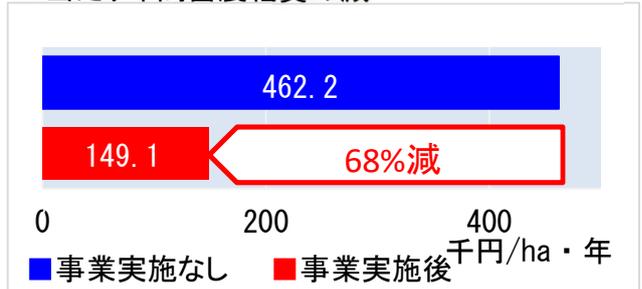
<用水路工>



集落内の  
給水スタンド  
（実施前）

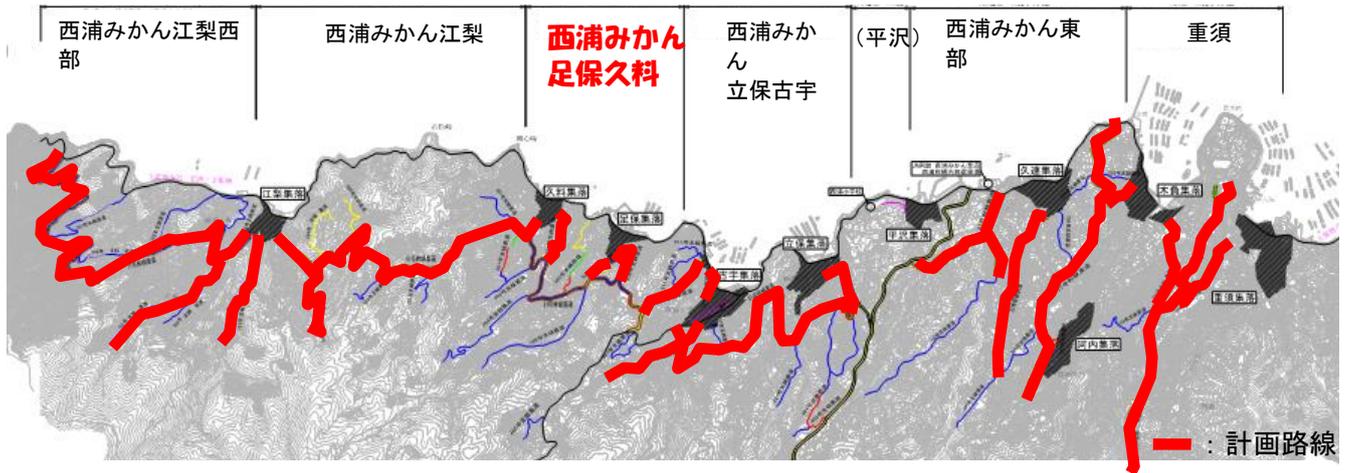
受益地内の  
給水スタンド（完成イメー  
ジ）

ha当たり年間営農経費の減



・防除における用水運搬の作業時間の短縮

## ●事業の必要性等(避難路として位置付け)



沿岸集落から樹園地がある高台までの支線農道及び幹線農道を「静岡県地震・津波対策アクションプログラム2023」の「避難路」に位置付け整備している。

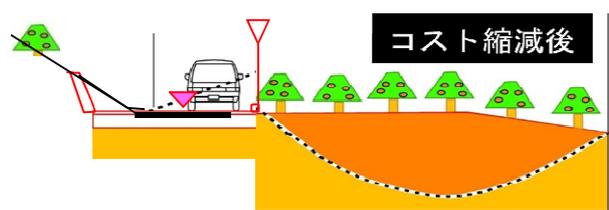
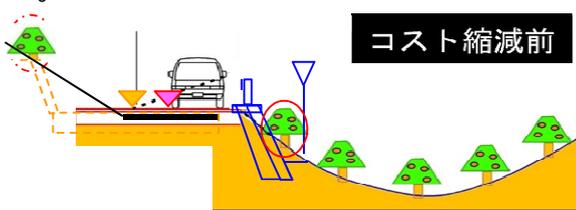


静岡県地震・津波対策アクションプログラム2023	計画 (R5まで実績)	進捗率
6地区計	15,360m (8,927m)	58.1%
西浦みかん足保久料	1,725m (1,251m)	72.5%

## ●コスト縮減・代替案立案等の可能性

### 1 構造物施工費及び残土処分費の縮減

- ・中心線形の決定に当たり谷側へのシフトを選択
  - ・農道計画に隣接する畑のみかん改植のタイミングに合わせ、発生土の搬入整地と農道工事を同時実施
    - ① 構造物（谷側ブロック積、ガードレール）の設置箇所の削減
    - ② 残土処分費の縮減
- ※併せて道路に隣接した優良農地を生み出すことで、今後、農地集積の促進が見込まれる



①縮減額 約13.1百万円/箇所×4箇所 約52百万円の縮減

②縮減額 約49.4百万円/ha×2.1ha 約103百万円の縮減

**計 約 1 5 5 百万円のコスト縮減**

## 当初からの変更点・理由

項目	当初(H26)	今回(R6)	主な変更理由
①計画期間	H26～R05	H26～R11 (+6年)	補強土壁工の増や埋蔵文化財の本調査等に伴い、完了年度を令和11年度まで延伸
②全体事業費	1,879百万円	2,642百万円 (+763百万円)	・補強土壁工の増、路床安定処理固化材の工法変更による増 ・人件費の高騰、補償単価の見直しによる増

## 事業費の増額理由

- ・補強土壁工の数量増及び路床安定処理固化材を発塵防止型に変更（134百万円）
- ・委託費及び用地補償費にて、人件費高騰や補償単価の見直し等による増額（314百万円）
- ・物価変動による自然増（315百万円）

